

京町家再生プラン

—くらし・空間・まち—

応援します！京町家を活かしたまちづくり！

～財団法人京都市景観・まちづくりセンター～

京町家の保全・再生の取組を推進するため、京町家居住者、京町家に関する専門家等のネットワークを形成し、さまざまな情報の提供、仕組みの整備などを行います。

京町家の保全・再生に関する様々なお手伝いをします。京町家にお住まいの方、京町家に興味をお持ちの方など、ぜひご連絡ください。



〒600-8127 京都市下京区西木屋町通上ノ口上る梅湊町83-1
(河原町五条下る東側)

「人・まち交流館 京都」地下1階

TEL 075-354-8701

FAX 075-354-8704

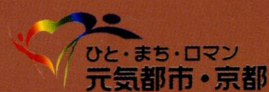
ホームページ <http://machi.hitomachi-kyoto.jp/>

■京町家再生プラン（パンフレット）（平成12年）

京都市都市計画局都市企画部都市づくり推進課
京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488番地

電話 075-222-3503

FAX 075-222-3472



◆京町家再生プラン策定の背景◆

■時代背景

- ・社会経済の転換期にあつて個性豊かなまちづくりを進めていくことが必要
- ・成熟化社会における価値観の多様化に対応した、主体的、継続的まちづくりが必要
- ・京町家の居住者、市民、各分野の関係者が幅広く参加する多様なネットワークの充実を図ると同時に、京町家を原点とするまちづくりを発展していく方策が求められる

■京都市の施策における位置付け

- ・職住共存地区整備ガイドプラン：京町家の保全・再生に取り組む
- ・京都市住宅マスタープラン、京都市観光振興基本計画等に位置付け
- ・京都市基本構想：伝統的な町家や町並みが数多く維持され、商業・業務機能が集積し、職・住・文・遊が織り重なる歴史豊かな市街地は、調和を基調とする都心の再生に努める

■市民の新しい動き

- ・地域単位での住民主体のまちづくり活動の活発化
- ・京町家の保全・再生に関する多様な市民活動の活発化
- ・多くの市民が京町家の保全・再生を進めていくことに理解



祇園祭の幔幕

■検討対象とする京町家

- ・京町家には、京都のくらしの文化、空間の文化、まちづくりの文化が蓄積されてきました。本プランでは、形態、規模にかかわらず、京町家の要素があるものを幅広く検討の対象とします。

■京町家の形成の歴史

- ・京町家は、都市住民の暮らしを支えてきました。
- ・江戸中期に経済発展、技術進展を背景に原型を形成しました。
- ・以後も徐々に改善を重ねつつ変化しています。

◆京町家の現代的役割◆

■蓄積されてきた京町家の価値

- くらしの文化
 - ・自然をとりこみ、家族間、地域とのかかわりを育む
- 空間の文化
 - ・洗練された美意識、自然と共生、都市居住配慮した空間
- まちづくりの文化
 - ・住民によるまちの運営、安全性の確保、地域内外との交流

■京町家の現代的役割

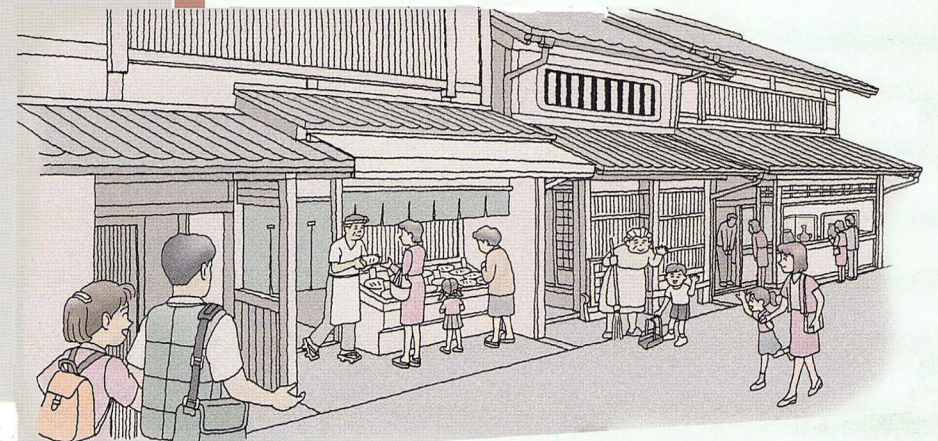
- まちづくりの視点から
 - ・個性的・魅力的な都市空間の形成、都市居住、都市型観光、産業基盤、環境共生、まちづくりへの参加促進
- 市民の視点から
 - ・京都という歴史文化都市を日常生活で実感
 - ・まちに対する価値観の共有
- 居住者の視点から
 - ・まちづくりの担い手としての誇り
 - ・文化性豊かな都市生活の支え、安心して暮らす環境の持続



京町家を再生して暮らしと家業を継承



公と私をつなぐ通り庭



住み手と作り手が連携して京町家を再生



出格子は京町家のシンボルの一つ



美しいディテールと自然素材はいつまでも使いつけることが可能



大戸は大きな荷物の出入と防犯の二つの機能を両立させる

◆京町家の保全・再生の課題◆

■居住者にかかわる課題

- ・保全・再生意識の向上
 - 一暮らしの場としての京町家であることを共有
 - 一京町家が蓄積してきた文化や価値の評価と共有
- ・居住者の悩みは百人百様
 - 一多様な問題に幅広く対応する仕組み

■建物にかかわる課題

- ・建物の維持・活用には、適宜改修等が必要
 - 一改修等を円滑化する環境整備
 - 一居住性の改善と併せた防災性の向上、高齢者居住対応等の促進

■まちづくりにかかわる課題

- ・居住者等の積極的取組が必要
 - 一住民・事業者の主体的活動を促進する環境整備
- ・景観、防災、産業、福祉など京町家を活かしたまちづくりへの総合的取組が必要

四季折々の暮らしが息づく京町家

京都市「京町家再生プラン(パンフレット)」(平成12年度)より

応援します！京町家を活かしたまちづくり！
～財団法人京都市景観・まちづくりセンター～
ホームページ <http://machi.hitomachi-kyoto.jp/>

市民参加の京町家まちづくり調査より

《様々な京町家が創る京都の暮らし》

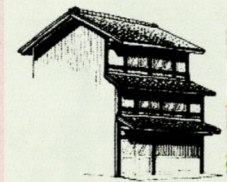
■調査時の京町家分類



総二階



中二階



三階建て



平屋



仕舞屋

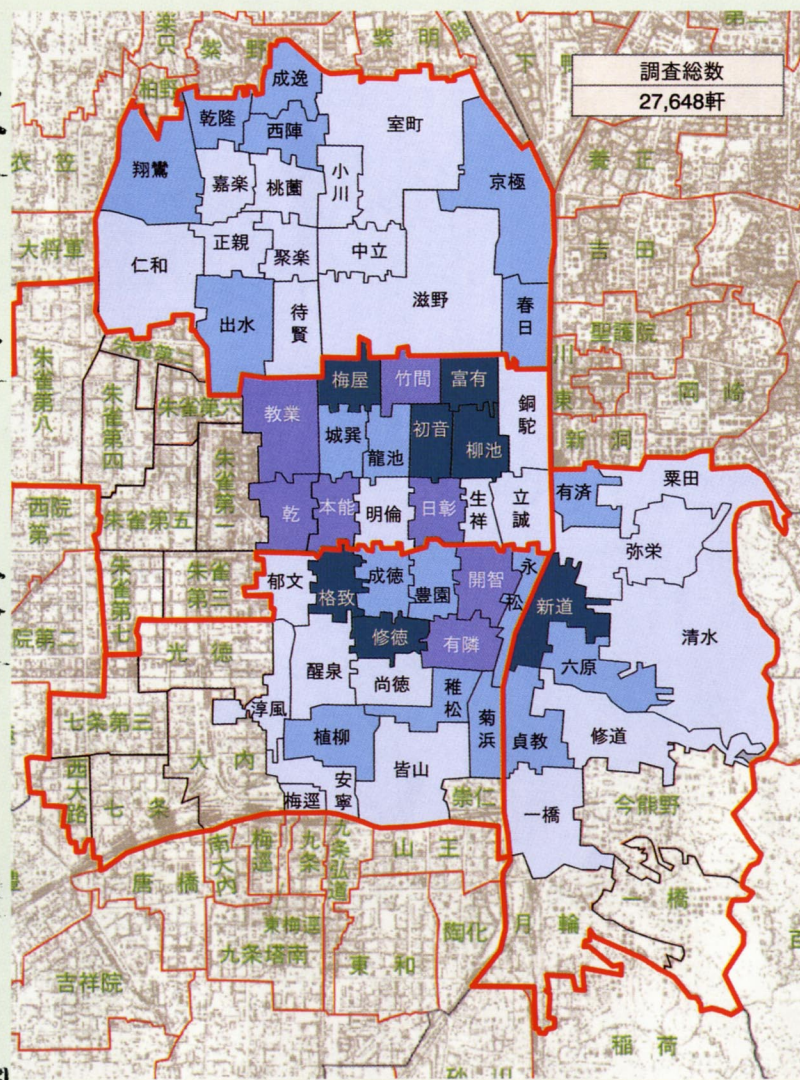
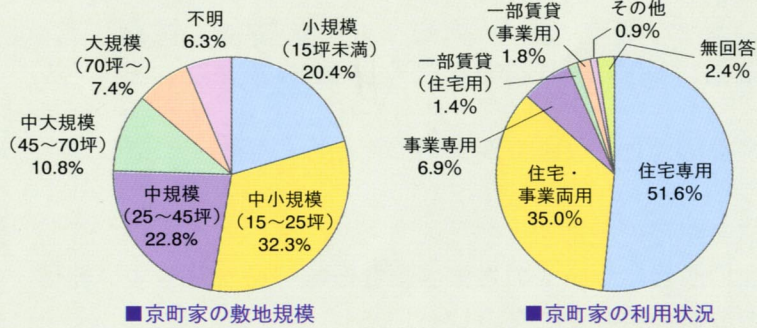


塀付



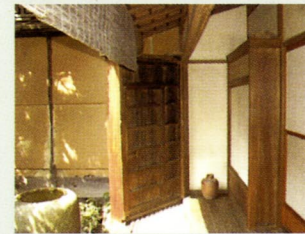
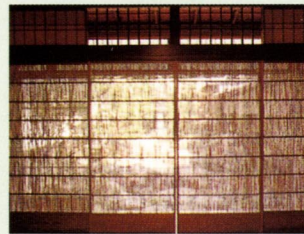
看板建築

京町家には江戸時代から戦後の京町家までの長い積み重ねがあります。大きさや形、お住まいの様子も様々ですが、概ね半数の京町家が仕事の間としても使われています。都心に今も息づく京都の暮らしぶりが見えます。

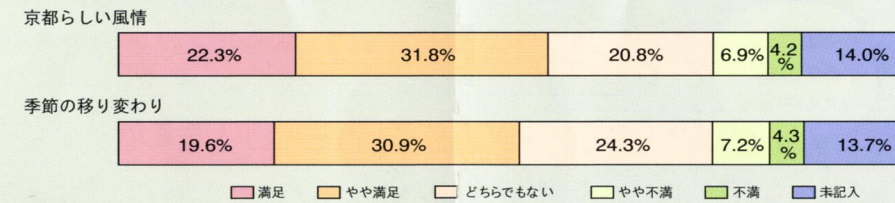


《四季折々、自然を感じる京町家の暮らし》

家の中には暮らしを少しでも快適にするための工夫が見られます。暑い夏でも通り庭には涼しい風が抜けていきます。庭からは折々の光が差し込み、四季の変化も肌で感じられます。普通の暮らしですが、大切にしたい暮らしです。



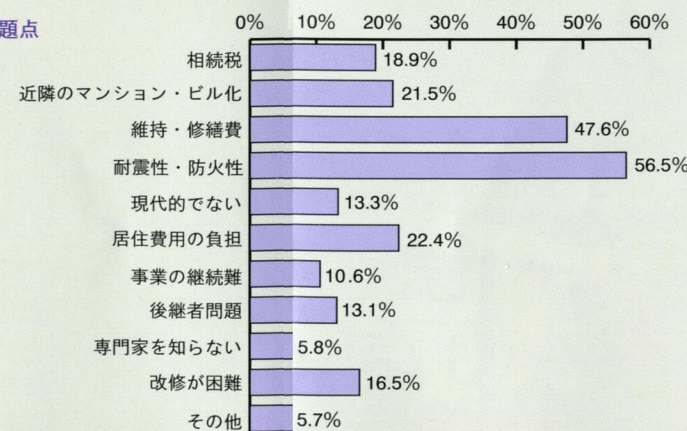
■京町家の暮らしの満足度



《京町家を引き継ぐための悩み》

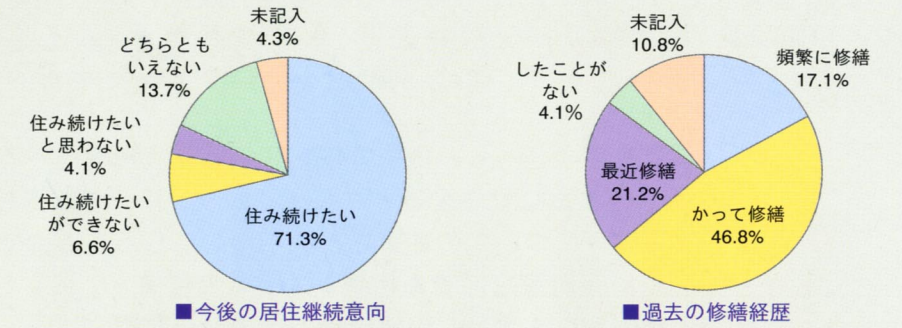
きれいなことばかりではありません。雨が降ったり、風がふいたりするたびに家のことを気にしています。地震や火事には大きな不安があります。手入れをすれば良いのはわかっているのですが、修繕の費用は大きな問題です。大工さんとのお付合いも遠のいていて頼みにくいのが現状です。子供たちにもこの家に住んで欲しいと思いますが、様々な問題があって、無理強いはできません。

■居住継続の問題点



《住み続けるための努力》

通り庭を台所にしたり、お風呂場を直したり、大雨のたびに心配な屋根を葺き替えたりとこれまでにいろいろな場所に入力してきました。問題はたくさんありますが、可能な限り修繕をしながら住み続けたいと思います。



《市民が取り組んだ京町家の調査》

ここでご紹介する京町家とその暮らしの様子は、約600名の市民ボランティアと市民活動団体、大学研究室等の協力を得て京都市が実施した「京町家まちづくり調査(平成10年度)」と市民調査「木の文化都市：京都の伝統的都市居住の作法と様式に関する研究(平成7、8年度)」の成果です。改めましてご協力いただいた皆さんに感謝申し上げます。



《機会をみつけて》

調査に来ていただいた皆さんや、お知り合いの専門家の方々とお話をし、すこし気持ちが楽になったように思います。これからも機会があれば、いろんな場で多くの方々とお話をしながら、自分たちの暮らしや住まいのことを考えていきたいと思っています。

～ヒアリング調査より～

京町家アクションプラン21

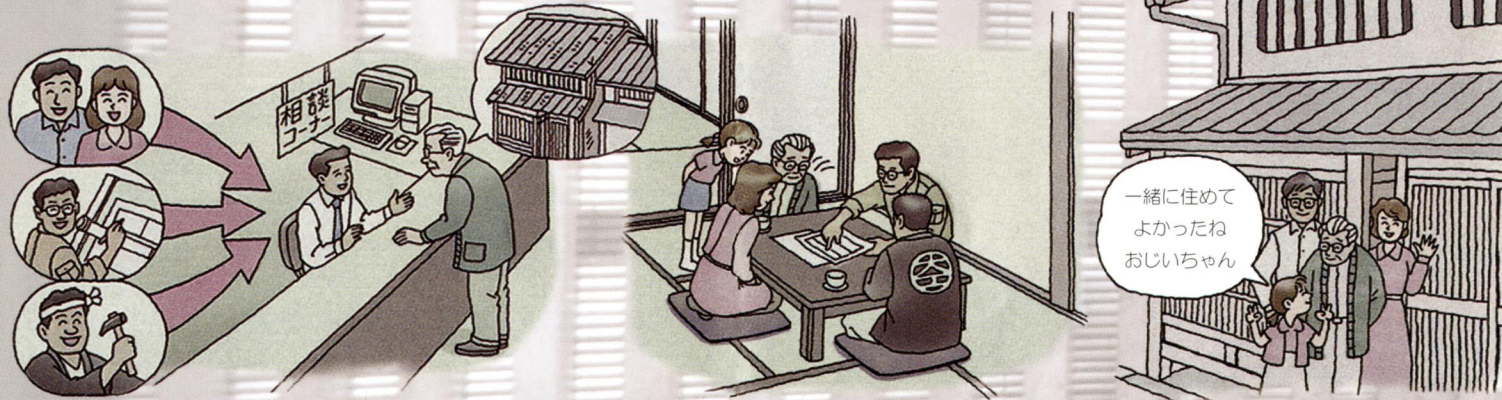
-21世紀に展開するまちづくりの原点となる京町家の保全・再生をパートナーシップにより支援していく21のアクションプラン-

◆ひと-くらしの文化の継承・発展◆

京町家に暮らす「人」が誇りを持ち、
安心して保全・再生に取り組むネットワークづくりの支援

京町家に継承されてきた京都の暮らしの文化を、次代に誇りを持って継承・発展させるためには、改めて、京町家に暮らすことの意味を確認し、その豊かさ、楽しさを実感し、その価値を多くの人と共有することが不可欠です。そこで、京町家を評価する活動や保全・再生を促進させる取組を支援します。

- 1 京町家の暮らしと価値の情報発信と交流を促進するためのネットワークづくり
-みんなで考える京町家交流ネットワークの形成-
- 2 京町家についてのさまざまな相談に応じることのできる仕組みの整備
-京町家なんでも相談システムの整備-
- 3 京町家にふさわしい賃貸借の仕組みの整備



新しい自然素材を活用して
リラクゼーションの場として再生



壁の白さが京町家を
新鮮に見せている



格子窓からガラス ウィンドウ



町並みに違和感なく
現代的なギャラリーに再生



杉板やナラのフローリングを用いて
現代感覚でリニューアル



京町家のリニューアルを
提案するショールーム



出格子は京町家の
シンボルの一つ



虫籠窓(むしごもど)は古い京町家に多く
壁格子を土で塗り込めている



存在感を示す老舗の京町家



京町家に新しいデザインを加えて
モダンなレストランに



京町家を住みやすい住宅として再生



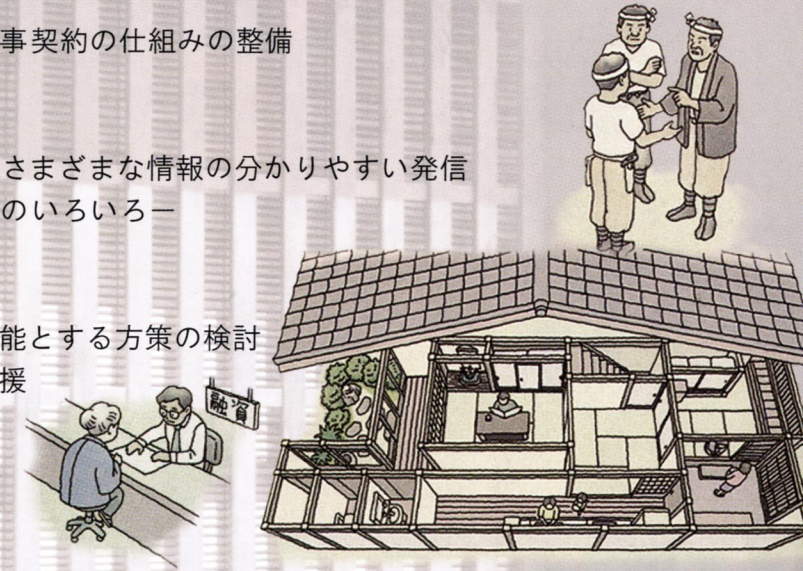
大切な人を迎える座敷

◆たてももの-空間の文化の継承・発展◆

適切な改修の促進などによる建物としての京町家の保全・再生の支援

今日もなお多くの都心居住を支えている京町家ですが、老朽化への対応、防災性の向上、現代生活様式への適応等の課題を抱えています。そこで、改修についての情報、技術、素材、制度、融資などの課題を解決し、改修工事等による、京町家の適切な保全・再生を支援します。

- 4 住み続けるための改修工事の円滑化, 改修工事契約の仕組みの整備
-改修工事のなるほど手引の整備-
- 5 京町家に適した部材や工法の開発の促進
- 6 モデル事業を通じた京町家の改修についてのさまざまな情報の分かりやすい発信
-来て見て分かる京町家改修の技術と工夫のいろいろ-
- 7 公的な融資制度による改修の普及
- 8 耐震改修の促進
- 9 京町家を維持・継承するための建築行為を可能とする方策の検討
- 10 歴史的意匠建造物指定による保全・再生の支援
- 11 文化財の登録に向けた詳細調査の検討
- 12 京町家基金の設置の検討



◆まち-まちづくりの文化の継承・発展◆

京町家の魅力を幅広い分野でより有効に活かすことによる保全・再生の支援

京都の文化を国内外に発信し、町衆によるまちづくりの誇りを継承する京町家を、まちづくりに活かすためには、都心居住、観光、産業・商業振興、地域福祉、防災など、生活のあらゆる分野を視野に入れた総合的な取組が必要である。そこで、地域まちづくりの促進をはじめ、都市型観光や新産業創出支援など、多様な視点からの支援方策を検討します。

- 13 地域まちづくりの促進
- 14 地区単位での整備手法, 都心景観の保全・再生方策の検討
- 15 防災活動の促進
- 16 住宅政策における京町家の保全・再生促進策の検討
- 17 袋路再生の促進
- 18 町家型共同住宅の促進
- 19 伝統産業の活性化・育成
-京ものブランド町家工房事業の実施-
- 20 都市型観光の促進
- 21 新事業創出や商店街振興等に向けた京町家の活用方策の検討

